

令和6年度 第1回星川もえぎ保育園 運営委員会 議事録

◎日時：令和6年 10月5日（土曜日）

◎会場：パークシティ横濱棟 2階会議室

◎出席委員（敬称略）

山崎 真澄美：星川もえぎ保育園 園長

太田 葵：施設利用保護者

藤田 渚：施設利用保護者

小林 千咲登：施設利用保護者

村上 裕子：施設利用保護者

小林 由美子：社会福祉に関する有識者として星川もえぎ保育園わらべうた講師（元横浜市立保育園園長）

水谷 次仁：パークシティ横濱全体管理組合保育園担当理事

山本 肇：特定非営利活動法人育援会理事長

矢作 千佳代：星川もえぎ保育園主任保育士

*本日都合欠席者：伊吹 恵美梨（利用保護者）

10名の内、1名のみ
急用で欠席

◎配付資料

事前配布：事業計画/全体的な計画/安全計画/よこはま☆保育・教育宣言/もえぎの保育

本日配布書類：レジメ・令和6年度災害時備蓄資料・決算報告・大規模修繕資料

- ・配布書類の確認、本日の運営委員会の流れの説明
- ・小林由美子氏の紹介・・・園長より
- ・運営委員の自己紹介。
- ・山本理事より・・・地域の方・有識者・利用保護者の方に参加して頂き、運営委員会が開催できる。

この場を、情報交換・意見交換の場としたい。

開会・・・山崎園長より

（1）運営委員会規定の変更の説明（規約、会の目的・意義確認）

第4条に追記

- ・他に施設関係者が加わる・・・という文言があり、主任が昨年2023年度2回目より参加
山崎：施設管理、矢作：保育指導、山本：全体の管理運営として各部門の責任者が参加することで報告の内容も深まると考えています。
- ・配布書類の確認、本日の運営委員会の流れの説明
- ・小林由美子氏の紹介・・・園長より

午前中に「わらべうた」を通して、子どもの育ちを考える。午後は振り返りを行い保育士に発達を理解してもらい保育に生かしてもらう。

- ・運営委員の自己紹介

◎山崎園長より「中長期計画R5年度」の報告とR6年度度今までの報告。

- ・地域支援 R5年度、「マンション秋まつり」参加。かき氷の出店を手伝う。
- ・発達支援事業所『はるの家』とのR6年度に交流に向けての打ち合わせを行う。
今年度7月にテラスにて「水遊び」を5歳児クラスと一緒に活動（就学前2名参加）
今後も継続した、顔が見える関係性を持ちたい。地域に開かれた保育園の役割を担えるのではと思っています。

- 地域支援について・・・地域資源として
 - ・社会福祉協議会主催の作品展に出展
 - ・子育て支援拠点『こっころ』の主催「公園であそぼう」、保育士が計画し、地域の子どもや保護者と共に1歳児クラスの子ども達と一緒に遊ぶ。
 - ・地域子育て支援連絡会（星川エリア）主催「あそびの広場」、山崎園長参加。
 - ・区役所主催「赤ちゃん教室」でわらべうた遊びを山崎園長参加。
- * 保育者自身が地域の保育人材として協力。これも保育園による地域支援と考えられる。

- 矢作より「同窓会」について

卒園生（現1年生）を呼んで行っている（去年は2月に行った、今年も2月ごろに予定）
 昨年から、現2年生と3年生（1人当日に都合欠席）をよんで開催した。
 カレーを作ったり、保育園時代のビデオの鑑賞・製作などをして過ごす。
 今年度は、11月30日（土）に、現在4年生・5年生を対象に行う予定。

◎2024 年事業計画「別紙参照」・・・山崎園長より

- ・新年度は48名でスタート

9月に退園児が1名。現在3歳クラスに1名の空きがある。
- ・R6年度の人事に付いての説明（別紙参照）

- 今年度の新しい行事の説明
 - ・保護者対象の交通安全教室

キッズ防災（幼児クラス）
 - ・芋掘り（年長行事）・・・11月9日（土曜日）

育援会グループ法人が運営する生活介護事業に通所している方々が、作っている。
 （旭区今川町に畑がある）
 今年度は夏の暑さが作物の育ちに影響しており思うように育っていないとの事。
 年長の子どもと保護者の行事として計画していきたいと考えている。

- ・生活発表会について

去年の運営委員会で、「岩間市民ホール」でやって欲しい、という意見があった。
 （近い距離で観覧できる保育園内での開催が良いという意見もあったが、過去に岩間ホールで行ったこともあり改めて行ってみようとなった）
 今年度は、「岩間市民ホール」の土曜日が当選した。抽選なので毎年やれるとは限らない。
 岩間市民ホールにて、2歳児～5歳児クラスが参加。
 12月21日（土）当日は現地集合、現地解散。
 予行練習・・・12月6日 と 12月17日を予定している
 保護者の方に引率のお手伝いをお願いしたい。
 雨天の場合でも行き経験させたい、距離もあるので出来れば電車が利用できないかと考えている。後日、お手伝いの可・不可のアンケート、
 電車を使用しても良いのかのアンケートも出す予定。

- ・運動会は毎年6月、公の団体として優先枠にて保土ヶ谷区役所より通知が届く
- ・今後は、「行事」「懇談会」などを平日に行う事も検討している。

➤ 平日の行事に付いての保護者の方の意見

- ・土曜日開催でも、家族の時間（イベント）と考えているので大丈夫である。
- ・土曜日で良い。ただ事前に予定がわかっているならば平日でも大丈夫。
- 懇談会（日中2時間くらい）は平日でも取りやすい。
- ・土曜日の方が良い。懇談会などお昼の時間だと参加はしやすい。
- ・仕事の関係上、1か月前に予定がわかれば組みやすい。

（2）＊大規模修繕工事について

- ・マンション全体管理組合保育園担当の水谷様より説明がある（別紙参照）
- ・今回2回目（10年前に1度行っている）の実施。具体的な内容は3月にははっきりする。前回と同じ竹中工務店が修繕工事にあたる。一度経験もある業者に依頼できたことで管理組合としてもコミュニケーションは図りやすいと考えている。保育園も要望は伝えて下さい。協力をします。
- ・来年度4月から工事が始まる。
- ・マンションは、耐震構造の為、テラス側に支柱を建てての足場を組んでの作業となる。
- ・バルコニーの張替え・マンション敷地内の石畳の整備を行う予定。
- ・仮設の機材置き場・業者の事務所など決まり次第開示する。安全管理をしっかり行う特に「送迎時間」の安全性・午睡中の騒音等の問題。会議には必要に応じて山崎園長が参加する。園としては10年前の大規模修繕も経験しており、その経験も生かして意見を伝えていきたい。

＊決算収支報告書の説明（別紙参照）・・・山本理事より

令和5年度決算、令和6年度予算に付いての説明

◎令和5年度決算について

黒字で終わったが、黒字額はわずか。

人の採用は人材紹介会社の紹介でないと人材がほとんど見つからない状態。

よって、予測しない退職や休職が発生して採用を進めると黒字もすぐ赤字に転じてしまう。

これは業界全体の課題ともなっている。

予断は許されない状態ではあるので、国には報酬を改めてよく検討して欲しいと思う。

黒字額は人材費や改修費等の目的別積立金に廻し将来に備える。

令和6年度の予測としては、児童数は令和5年度よりも多い推移となっている。保育士の処遇改善費も増え職員の昇級も行いながら、国や市の定めた配置基準数よりも多くなるが我々の保育に必要な人員の配置を行いながら収支が黒字で着地するようにバランスをとりながら運営を行っている。

(3) 質疑応答

➤ 小林先生より

- ・資料にページ番号をふってほしい。資料を見ながらよりスムーズに説明ができるはず。
- ・事業計画の報告をまとめて行えるように地域支援の項目も冊子の資料に詳細を書いておく方が良い。新しい計画について園のやり方を説明するようにした方が良い。
- ・行事等に「キッズ防災」など新しく組み込まれた事を、保護者側に立って資料作りをする。さらに見やすい資料作りを進めて下さい。

➤ 理事長より・・災害時備蓄品一覧資料についての質問と説明。

現在は災害時には自助を進める考え方になってきている。マンションもそういう考え方なので、自治会に備蓄がないことは理解できる。一方、保育園は備蓄が義務付けされている。

(4) 委員より一言

- ・年間行事の説明、昨年度の説明と今年度の話が聞けてよかあった。資料もあり理解する。
 - ・地域支援・同窓会などやっている事を知った。先生方が楽しんで取り組んでいる事がわかって嬉しかった。協力できる事があった協力したい。
 - ・他施設に子どもを預けたことがあるが、それらと比べても一人ひとりを見ていただいている感じがする。完全にマニュアル化していない所が良い。
- 異年齢でのつながりがあり刺激もある為か、言葉が急に増えた。

- ・人員の配置が多めであると感じる。
- 行事にも先生方も楽しんで参加していることがわかった。
土曜日の行事が多いので、先生方も大変ではないかと思う。
色々な行事も多い。先生方の負担が大きいのではと思う。
個人的にはクラス担任が続けてやめたので残念。

➤ 園長より/理事長/主任より

- ・「もえぎの保育」の資料は目指す保育、職員像を書いてあるものになる。ぜひご確認してほしい
 - ・退職の職員については、引っ越し・出産等 自己都合での退職があった。
 - ・職員について皆さんのご心配がないように運営していきたい。
- ライフステージによって働き方を考える職員は毎年一定数存在するので、多様な働き方を提示するなどこれまでも一定の配慮は行ってきた。「ひとりひとり」と標榜をしているが、それは預かる子どもだけでなく、職員や関わる人達に対しても行っていきたい目標である。これからもより働きやすい職場環境を整える努力を行っていきます。

小林先生より・・自己肯定感、人権の観点からも大事である。

0歳の時から育てていきたい。人と関わる力は大人になっても大事な力となる。
大好きな大人に褒められて、自己肯定感を高めていく。

「わらべうた」は人と人を繋ぐ遊びである。遊びの中でルールや秩序も理解していく相手の事もわかってくる。

主体性・・園の中に学びがある。家庭的な園の雰囲気がある。保護者委員の方が感じられているように小規模の園の方がより感じやすい良さである。

集団が小さいのでデメリットもある。大きい規模では集団が育つと子ども同士が育ちを助ける。小学校ではこれがとても大事になる
集団の中で、子ども同士の育ちがある。
保育士が課題をもって保育を行う事が大事である。ただの預かりの保育にでない事が大事である。努力を惜しまずやっていかれると良い。

(5) 次回の日時確認

以上

